

柏崎刈羽運転禁止継続

規制委テロ対策不備解消せず

テロ対策の不備が相次い 再稼働させる前提で、国に
だ東京電力柏崎刈羽原発 電気料金の値上げを申請し
(新潟県) について原子力 ましたが、追加検査の終了
規制委員会は17日、追加検 時期は不明です。地元から
査を継続し、事実上の運転 は「東電に原発を動かす能
禁止命令を継続させること 力・資格はないことを認め
を決定しました。東電は、 て示した」との声も上がっ
同原発7号機を今年10月に ています。 ↓関連⑩面

核燃料物質の移動を禁止す ない上に、荒天時の監視業
る命令を発出。テロ対策に 務に大きな負担がかかって
対する改善措置の実施状況 いること、核物質防護関係
や効果を確認するため累計 の情報共有が十分に行われ
で3475時間の追加検査 ていないなどと指摘されま
を進めてきました。 した。

原子力規制庁は、この日 規制委は近く、東電社長
の定例会合で、追加検査で と今後の取り組みについて
確認した27項目のうち4項 意見交換する予定。山中伸
目では正が図られていると 介委員長は「東電自身が、
は判断できなかった、と報 自律的に核物質防護に対す
告。侵入検知の設備が風雪 る課題を解決できる状態
などに誤って反応する警報 に、まだなっていない」と
の低減目標が達成できてい 述べました。

東電 "2年たつのに改善せず"

柏崎刈羽運転禁止継続 規制委

不正侵入を検知する設備の不備など核物質防護上の重大な不備が相次ぎ、運転禁止命令が出ている東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）。原子力規制委員会が17日、同原発を調査した項目の一部で「是正が図られているとは判断できない」とする検査報告書を受け、検査継続を決めました。

報告書は不祥事が全社的な問題かどうかについて「柏崎刈羽原発固有の問題」と判断。他の6件の「カイゼン活動」

不正侵入を検知する設備の不備など核物質防護上の重大な不備が相次ぎ、運転禁止命令が出ている東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）。原子力規制委員会が17日、同原発を調査した項目の一部で「是正が図られているとは判断できない」とする検査報告書を受け、検査継続を決めました。

報告書は不祥事が全社的な問題かどうかについて「柏崎刈羽原発固有の問題」と判断。他の6件の「カイゼン活動」

は2021年4月。今年4月まで、事実関係の調査や東電の改善措置の状況をハード面とソフト面で確認する検査を行いました。

検査に必要な時間を当初のべ約2000時間としていたが、3475時間かかっていました。

検査に必要時間を当初のべ約2000時間としていたが、3475時間かかっていました。

検査に必要時間を当初のべ約2000時間としていたが、3475時間かかっていました。

対象事業については「不適切なコストダウンの指示」などの「形跡はなかった」としています。

報告書は、▽侵入検知器が警などに反応する警報を18年比で10分の1に減らすという目標に到達していない▽核物質防護について審議する場で代理出席者が多い場合に議論が低調—など4項目で「是正が図られているとは判断できない」としています。

原発動かす資格ない

新潟大学名誉教授 立石雅昭さん

検査継続は当然だと思

検査継続は当然だと思

す。命令が出た時こそう

ですが、それから2年た

っても十分に改善の対応

ができないということ固

体、東電に危険な原発を

動かす能力・資格がある

のかどうか問われる問

題です。能力も資格もな

いことを改めて示してい

るのです。そのことを政

府も経済産業省も、規制

委も認識するべきです。

同原発を抱える柏崎市

や新潟県がこの事態を受

容する必要があると



柏崎刈羽原発の核物質防護などめぐる動き

- 2017年12月 6、7号機 新規制基準「合格」
- 20年9月 他人のIDカードで中央制御室に不正侵入
- 21年1月 基準に基づく「安全」対策工事完了と発表。その後、工事の「未完了」や工事の不備相次ぐ
- 同 侵入検知の設備の故障が判明。機能喪失は最長11カ月
- 4月 規制委が運転禁止命令